



脳ドックは、主に MRI や MRA による画像診断と脳機能に関する検査を行ない、脳の健康状態を見る検査です。

脳血管の動脈硬化や脳動脈瘤、脳梗塞、脳腫瘍などを早期に発見し、将来おこるかもしれない脳卒中や認知症の予防が目的です。

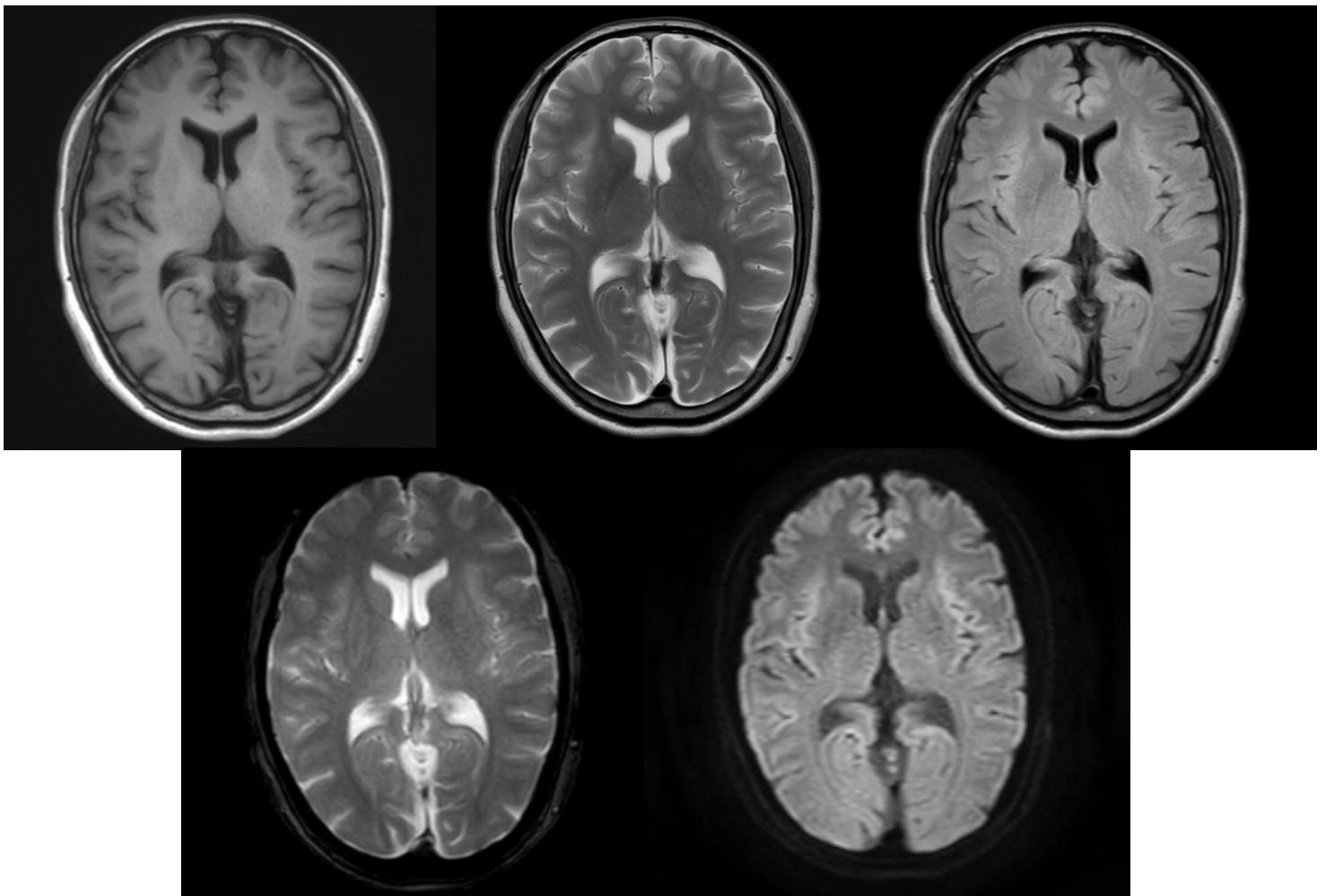
当センターの脳ドックは15～20分で行える簡易脳ドックと20～30分で行えるフル脳ドックがあります。

<MRI とは>

磁力と電磁波で脳の断面を撮影することで状態を評価します。

脳梗塞、脳腫瘍、脳出血などの病気が無いか調べます。

また、フル脳ドックでは、簡易脳ドックよりも種類の多い断面画像で評価します。

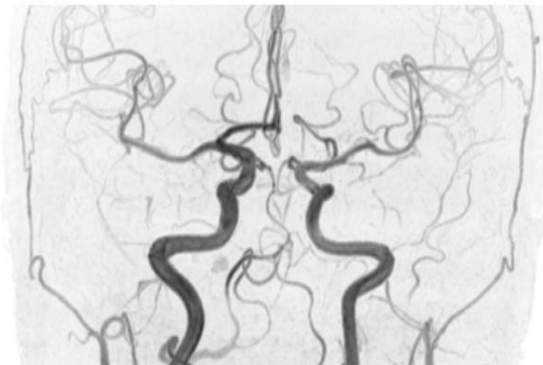


<MRA とは>

MRI では脳全体の断面画像を見ますが、MRA では脳の血管を見ます。

3D 立体表示などで動脈硬化による血管の狭窄や閉塞、脳動脈瘤といった血管由来の病気を調べます。

また、フル脳ドックでは、簡易脳ドックよりも詳細なデータで評価します。



＜注意事項＞

MRI は強い磁力を使用した検査のため、心臓ペースメーカーや人工内耳・中耳、脳脊髄刺激電極、体内埋め込み式のインシュリンポンプ、持続グルコース測定等を装着されている方は検査が出来ません。

入れ墨をしている方、妊娠中の方も基本的には検査を避けます。

また、脳動脈クリップや人工関節、インプラント、義眼を付けている方も検査できない場合があります。

磁気成分入りの化粧品やネイルをご使用の場合も注意が必要です。

検査中は、うるさくて狭いドームの中でじっと寝ていただきますので、閉所恐怖症の方は注意が必要です。